

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
E1121008		声楽Ⅱ（日本の伝統的な歌唱を含む。） (Vocal music Ⅱ)							対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
必修		1	2	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫	後期	月2	日本語			単独					
担当教員	氏名 栗栖 由美子														
	E-mail ykurisu@oita-u.ac.jp 内線 7617														
授業の概要	声楽Ⅰで習得した能力にもとづき、中学校歌唱教材を用いて、さらに高度な歌唱技術と専門的知識、歌唱指導法の習得を目指します。また、日本の伝統音楽における「声」についての理解を深めます。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。								○							
目標2 「赤とんぼ」と「荒城の月」の範唱ができる。								○							
目標3 「赤とんぼ」における弾き歌いの技術を習得する。								○							
目標4 「赤とんぼ」における指導法を理解し、場面指導ができる。								○							
目標5 「荒城の月」における弾き歌いの技術を習得する。								○							
目標6 「荒城の月」における指導法を理解し、場面指導ができる。								○							
目標7 日本の伝統的な「声」についての理解を深める。								○							
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度 (計10)								10							
授業の内容															
1 授業ガイダンス															
2 姿勢・呼吸法、発音について（母音と子音の扱い方）															
3 「赤とんぼ」における歌唱法（1）響きのとらえ方															
4 「赤とんぼ」における歌唱法（2）フレーズのとらえ方															
5 「赤とんぼ」における歌唱法（3）歌詞の内容を生かした表現															
6 「赤とんぼ」を用いての弾き歌い															
7 「赤とんぼ」を用いての場面指導															
8 日本の伝統音楽における「声」について（1）															
9 日本の伝統音楽における「声」について（2）西洋の発声法との違い															
10 「荒城の月」における歌唱法（1）短調の響きのとらえ方															
11 「荒城の月」における歌唱法（2）フレーズのとらえ方															
12 「荒城の月」における歌唱法（3）歌詞の内容を生かした表現															
13 「荒城の月」を用いての弾き歌い															
14 「赤とんぼ」を用いての場面指導															
15 まとめ															
ラーニング	A:知識の定着・確認		○	教材研究、演奏発表、相互評価			工夫	その他の							
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造		○												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		指定曲の事前練習・教材研究（10h）、模擬授業のための事前準備（3h）												
	事後学修		授業で扱った曲の復習（10h）												
	想定時間合計		23												
教科書		教育芸術社『中学生の音楽1』ISBN978-4877888503、『中学生の音楽2・3上』ISBN978-4877888510、『中学生の音楽2・3下』ISBN978-4877888527													
参考書		文部科学省『中学校学習指導要領解説 音楽編』（平成29年告示）ISBN978-4877888114 必要に応じて、楽譜を配布します。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加度（授業への取り組み、場面指導、実技等）		40%	○	○	○	○	○	○	○			
	最終実技試験		60%	○	○	○		○					
注意事項		各自、発声練習をしてから受講してください。 授業全体の7割以上の出席を、単位取得のための基礎条件とします。											
備考		・個人レッスンの形態をとりますが、毎回、公開レッスンとし、他学生の歌唱や弾き歌い、場面指導に対して、コメントする時間を設けます。 ・歌唱技術のレベルによっては、曲目を変更する場合があります。また、早く進めた場合は、教材を追加します。											
リンク													
		URL											